



## ベオグラードの風景

# オ

ンライン英会話というビジネスをご存知でしょうか。駅前留学の代わりにインターネットのビデオ通話を利用し、海外に住む外国人講師が英会話レッスンを提供する事業です。特徴は圧倒的に安価な点で毎日マンツーマンレッスンを受講しても月額6000円程度で利用できます。その様な低価格が実現できる理由は賃金の低い途上国で講師を採用しているからです。また全てオンラインでレッスンをを行うため家賃の高い駅前に教室を借りる必要もありません。

私は7年前にDMMグループの傘下でこのオンライン英会話の事業を始めました。以来、毎年1年の大半をフィリピンやセルビアといった途上国で過ごしています。フィリピンもセルビアも共通しているのは出稼ぎ大国だという点です。フィリピン人は人口の1/10が出稼ぎの為海外で働いています。セルビアに関しては戦争や経済制裁の影響もあり、国内人口の半分以上にあたる400万人以上が海外で暮らしていると言われています。もちろん海外で働く事は彼らにとって良い収入を得る手段ですが、家族とは離れ離れで数

年に一度しか会えない、実際の周りにもその様な人達がたくさんいます。問題の根源は高い失業率や良い教育を受けてもそれに見合う仕事が国内に無い事です。

DMM英会話には現在7000人近くの講師が在籍していますが、彼らから聞く話で最も我々をモチベートしてくれるのは「この仕事のおかげで人生が変わった」「家族と離れ離れにならずに済む」「妊娠していても産前産後も自宅で働いて稼げるので助かる」といった声です。自宅で働きながら、例えば現地大手銀行の支店長より良い収入を得ている講師はたくさんいます。そし



てそれは日本と途上国の賃金格差が源泉となり実現しています。

一方で北米や欧州の先進国を訪れた際に感じる事は、日本はなんでもモノが安すぎるという事です。二十数年前に学生旅行をした際、チョコレートバーは日本では100円、アメリカでは1ドルでした。そして現在日本は変わらず100円ですが、アメリカでは2.5ドルです。このままでは今度は日本人が家族と離れ海外へ出稼ぎに行く時代がやって来るのではないのでしょうか。

既に優秀な科学者やエンジニアなどは報酬や研究環境の差から多くの方が海外に活躍の場所を移していると聞きます。少なくとも、これまでの様に誰でも気軽に海外旅行には行けなくなる、そんな時代は直ぐそこまで来ているのではないかと感じます。

### Profile

2013年にDMMグループ傘下でDMM英会話事業を創業。  
以来、東南アジア、東欧、東京を往来する日々。  
1978年生まれ、大阪出身。  
DMM英会話/Bibo Globalグループ/Engooグループ代表。

Vol.01

## オンライン英会話というビジネス

文 上澤 貴生

text by Takao Uesawa

